

【大学間協定留学】 留学報告書

記入日	2025 年 2 月 26 日
明治大学の所属学部・研究科 ※学部・学科・研究科・専攻等	国際日本学部国際日本学科
留学(渡航)した時の学年	2 年生
帰国年月日	2025 年 2 月 12 日
明治大学卒業予定年月	2027 年 3 月
留学先大学について	
留学先国	ハンガリー
留学先大学	エトヴェシュ・ロラード大学(日本語名) Eötvös Loránd University(現地言語名)
現地使用言語/ 授業使用言語	ハンガリー語/英語
留学期間	2024 年 9 月～2025 年 1 月
留学先大学で在籍した学年	年生
留学先の所属学部等	☒ 特定の学部・研究科等に所属している(以下に学部等名を記入) ※学部等名 日本語名: 人文学部 現地言語での名称: Faculty of Humanities ☐ 特定の学部等に所属せず様々な学部等の授業を履修している ☐ その他:
形態	☒ 国立 ☐ 公立 ☐ 私立 ☐ その他:
学年暦 ※記入例: 1 学期: 4 月上旬～7 月下旬 2 学期: 9 月中旬～2 月上旬	1 学期: 9 月上旬～1 月下旬 2 学期: ~ 3 学期: ~ 4 学期: ~
学生数	約 40000 人
創立年	1635 年

留学費用			
留学費用項目	A 現地通貨 (ハンガリーフォリント) (1 現地通貨 = 0.4 円)	B 日本円	備考
授業料	0	0 円	
宿舍費	70000HUF × 5 か月	137000 円	
食費		110000 円	外食は除く
図書費		5500 円	
学用品費		800 円	
携帯・インターネット費		32000 円	
現地交通費		10000 円	(☐ 大学まで徒歩・自転車)
教養娯楽費		18000 円	
旅費(留学中)		250000 円	
被服費		10000 円	
医療費		0 円	
保険費		円	形態: 明治大学指定の保険
渡航旅費		277833 円	
ビザ申請費		10000 円	滞在許可証を取った時の費用
雑費		円	
その他		円	
その他		円	
合計 ※現地通貨 および 円	(= 円)	円	
総計(A+B) ※円		円	すべての旅費を除いた留学にかかる費用は、600000 円くらいだった。

※現地通貨で支払ったものは「A 現地通貨」の欄に、日本円で支払ったものは「B 日本円」の欄に記入し、総計も記入してください。

※現地通貨名、現地通貨と円の為替レートも必ず記入してください。

渡航関連

渡航経路

往路 出発地：羽田空港 目的地：リスト・フェレンツ国際空港 経由地：ハマド国際空港(カタール)

復路 出発地：リスト・フェレンツ国際空港 目的地：成田空港 経由地：フレデリック・ショパン国際空港(ワルシャワ)

渡航費用

① 往復チケットを購入した場合

航空会社：

料金：

② 片道ずつチケットを購入した場合

往路 航空会社：カタール航空

料金：188,210 円

復路 航空会社：ポーランド航空

料金：89,620 円

∴合計：277,830 円

航空券購入方法

☐ 旅行代理店(店名：)

☒ インターネット(サイト名：HIS, Trip.com)

☐ その他()

滞在形態関連

1) 種類(留学中の滞在先)(例：アパート、大学の宿舎等)

☒ 学生寮(寮の名前：ELTE KCSSK Kollégium)

☐ アパート

☐ ホームステイ

2) 部屋の形態

☐ 個室

☒ 相部屋(同居人数 1 人)

3) 共有部分

☒ バス ☒ トイレ ☒ キッチン(☒ 自炊可 ☐ 自炊不可)

4) 住居を探した方法：

大学の紹介

5) 感想：(滞在先の感想とこれから留学する人のためのアドバイス)

とても多国籍な寮で、様々な国の友達と出会えることが良かった。寮の中にバーがあり、パーティーが二週間に 1 回開催されているらしい。その他音楽室やジム、バスケット等もある。だが、とてもきれいではなかった。

現地情報

1) 留学期間中、病気やケガをしましたか。した場合、どこで治療を受けましたか。

(例: 現地の病院、学内の診療所)

☒ なし

☐ あり (治療を受けた場所:)

2) 留学期間中、学内外で問題はありましたか。あった場合、誰に相談しましたか。

(例: 留学先大学の相談窓口、現地の友人等)

☒ なし

☐ あり (問題の内容や相談した人等:)

3) 現地の危険地域情報をどのように収集し、どのような防犯対策をしましたか。また、実際に盗難等を含む犯罪に巻き込まれたことはありますか? その際どのように対処しましたか?

特にトラブルはなかった。

4) 携帯電話や、インターネットについて、現地での利用・接続はいかがでしたか。

(例: 寮のインターネット接続が不安定で 1 週間に 1 度は全く繋がらない時がある。街にあるほとんどのカフェでは WIFI 接続が可能であったので、寮で使用できない時はカフェに行った。)

寮のインターネット接続がたまに悪かった。ルーターを購入している人もいた。

5) 現地での資金調達はどのように行いましたか?

(例: 現地に銀行口座を開けて日本の親から送金してもらった。銀行口座は現地で外国人登録をしないと開設できない。また、クレジットカードも併用していた。)

ハンガリーの銀行口座は開設せず、日本の銀行口座を使っていて、親から送金してもらった。基本クレジットカードで支払っていた。

6) 現地では調達できない日本から持っていくべき物があれば教えて下さい。

水に流せるティッシュ、メジャー(旅行の時に荷物の大きさを測る用)、電子レンジに使えるラップ、インスタントみそ汁、カレールー、お菓子などの日本食(友達に作ってあげると喜ばれる、現地でも買えるものもあるけど高い)

7) 【授業料負担型の方】授業料の支払方法、支払時期等について教えてください。

(例: 渡航前に自分で指定したクレジットカードで支払った、現地で開設した銀行のチェックで支払った。)

学習・研究活動についてのレポート(履修した科目ごとに記入)

1) 留学先で取得した単位数合計	本学で認定された単位数合計 ※該当項目にチェックのうえ、記入して下さい。
21 単位	☒ 単位 ☐ 単位認定の申請はしません(理由:)
2) 履修登録の時期・方法及び履修制限	
☐ 出発前 ☒ 出発後 ☒ 派遣先大学の事務室 ☒ オンライン ☐ メール ☐ その他() ☐ 履修の制限があった:	
3) 以下は留学先で履修した科目についてのレポートです。今後留学をする人たちへのアドバイスも含めてお書き下さい。 記入スペースが足りない場合は、A4 用紙で別途作成し、添付してください。	
履修した授業科目名(留学先大学言語)	履修した授業科目名(日本語)
English for Specific Purpose	
科目設置学部・研究科	BTK Department of English Applied English
履修期間	1 学期
単位数	2
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	実践 (チュートリアル、講義形式等)
授業時間数	1 週間に 90 分が 1 回
担当教授	Wünsch-Nagy Nóra
授業内容	English for Specific Purpose(ESP)の方法を学び、実際に自分で授業を計画する。
試験・課題等	毎週小さい課題があり、最後に自分で作った授業計画のプレゼンテーション、おいてとフォリオ提出
感想を自由記入	7 人程度のクラスで自由に発言できる雰囲気楽しかった。様々な専門を持つ教員志望の生徒がいたため、明治大学の教職の授業のような感覚だった。

履修した授業科目名(留学先大学言語)		履修した授業科目名(日本語)
Researching ESP		
科目設置学部・研究科	BTK Department of English Applied Linguistics	
履修期間	1 学期	
単位数	3	
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)	
授業形態	実践(チュートリアル、講義形式等)	
授業時間数	1 週間に 90 分が 1 回	
担当教授	Tiboldi Tímea	
授業内容	ESP に関するリサーチペーパーを書く。	
試験・課題等	リサーチペーパーの提出、その内容のプレゼンテーション	
感想を自由記入	間違えて大学院の授業を取ってしまった。留学生は大学院の授業もとることができるようだった。内容が難しかったが、教授とクラスメイトがわからないことを教えてくれたのでどうにかなった。プレゼンテーションが終わった後には、先生の提案でそれぞれ自国の食べ物を持参してカルチャーパーティーをした。	

履修した授業科目名(留学先大学言語)		履修した授業科目名(日本語)
Cultural Studies		
科目設置学部・研究科	BTK Department of English Language Pedagogy	
履修期間	1 学期	
単位数	3	
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)	
授業形態	講義 (チュートリアル、講義形式等)	
授業時間数	1 週間に 90 分が 1 回	
担当教授	毎週交代	
授業内容	アメリカ、イギリス、カナダ、オーストラリアの文化や歴史についての講義。ホールのような大きな部屋で行われ、先生は週替わりだった。	
試験・課題等	課題はなく、期末試験(四択問題)のみ。	
感想を自由記入	それぞれの国の文化をよく知ることができて面白かった。期末試験は四択問題のみだが、試験範囲が広くて思ったより大変だった。	

履修した授業科目名(留学先大学言語)		履修した授業科目名(日本語)
English as a Lingua Franca		
科目設置学部・研究科	BTK Department of English Applied Linguistics	
履修期間	1 学期	
単位数	5	
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)	
授業形態	実践(チュートリアル、講義形式等)	
授業時間数	1 週間に 90 分が 1 回	
担当教授	Eitler Tamás Krisztián	
授業内容	リンガフランカとしての英語についての論文を読み、意見交換をしたり、論文の内容をペアでプレゼンテーションしたりする。	
試験・課題等	期末レポート	
感想を自由記入	授業内容が難しく、論文も長かったため大変だった。言語学の専門用語を知っていればもう少し楽だった気がする。	

履修した授業科目名(留学先大学言語)		履修した授業科目名(日本語)
Elective Course in Language Pedagogy		
科目設置学部・研究科	BTK Department of English Language Pedagogy	
履修期間	1 学期	
単位数	2	
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)	
授業形態	講義と書いてあったが、実践だった。(チュートリアル、講義形式等)	
授業時間数	1 週間に 120 分が 1 回	
担当教授	Price Beatrix Ildikó	
授業内容	小学生くらいの子どもに英語を教える方法を学び、実践する。	
試験・課題等	論文を読んで提出する課題や、子供向けの本と、子どもの発達過程に関するプレゼンテーション。最後のポートフォリオ提出。	
感想を自由記入	授業の詳しい内容がシラバスに書かれていなかったため、履修するまで内容がわからなかった。少人数で、ヨーロッパの子どもがどのような本や歌などを使って英語を学んでいるのか知ることができた。文化もそれに伴い学べた気がする。先生が気さくで授業がとても柔軟だった。	

履修した授業科目名(留学先大学言語)	履修した授業科目名(日本語)
General Hungarian Language	
科目設置学部・研究科	BTK Institute of Language Mediation
履修期間	1 学期
単位数	6
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	実践(チュートリアル、講義形式等)
授業時間数	1 週間に 90 分が 2 回
担当教授	Kertai Jolanda
授業内容	初めて学ぶ人のためのハンガリー語
試験・課題等	期末試験
感想を自由記入	毎回お店などで翻訳機を使うのは少しストレスだったので、ハンガリー語を学んでよかったと思っている。現地の人と簡単な会話ができたり、身の回りの文字の意味が分かったので、ハンガリーに住む楽しさが増えたと思う。また、現地の言葉を学ぶの是一种の礼儀だとも思うので、現地の言葉を少しでも勉強するのが良いと個人的に思う。先生が良くて、ハンガリーの文化についても教えてくれたた楽しく学ぶことができた。

卒業後の進路について

1) 進路 ※3年生以下の方は今後の予定を記載してください。(下記2以降は記入不要)

☒就職 ☐進学 ☐未定 ☐その他:

1) 進路決定の際に活用したウェブサイト、書籍、機関等

3) 就職を選択した方は、差し支えなければ内定先を教えてください。また、その企業を選んだ理由も教えてください。内定を得た企業すべての名前、あるいは入社すると決定した企業の名前のみでも構いません。就職活動をこれから始める場合は、差し支えなければ現時点で希望する業界、職種等を教えてください。

4) 就職活動中・終了に関わらず、就職活動について感想・アドバイスをお願いします。
(例: 留学中の就職活動に向けた準備、帰国後に就職活動を始めるにあたり注意すること等。)
就職活動を不安に思い、留学を断念する方もいます。
ご自身の経験を踏まえてアドバイスをお願いします。
就職活動をこれから始める場合は、留学経験を通して就職活動に対する意識や希望する就職先の変化等を教えてください。

5) 進学を選択した方は、差し支えなければ進学先を教えてください。

6) 進学を志す留学希望者に向けたアドバイス(準備、試験対策等)をお願いします。

7) その他を選択した方は、その進路を選択した理由と、留学希望者に向けたアドバイスをお願いします。

留学に関するタイムチャート

留学するまでの準備、試験勉強、留学中、留学後、特に留学に関連して発生した事項を記入してください。

(例: 語学試験の勉強、選考、出願、ビザ申請・取得、航空券購入、予防接種、滞在先確保、留学中の中間試験・期末試験、その他イベント等)

留学開始年の 前年	1月～3月	
	4月～7月	大学入学
	8月～9月	TOEFL受験
	10月～12月	出願、選考、留学先決定
留学開始年	1月～3月	日本にあるテンプル大学の授業を受講
	4月～7月	オンラインで留学先の学部のオリエンテーション
	8月～9月	出国
	10月～12月	
留学/帰国年	1月～3月	期末試験、旅行、帰国
	4月～7月	
	8月～9月	
	10月～12月	

留学を志す学生へのアドバイス

※ これから留学を志す学生へ、この留学先国・大学を選んだ理由、留学生生活全般等について、アドバイスを記入してください。

留学先を選んだ理由

- 留学先としてメジャーでない国に行ってみたかったから。SNS等での情報が少ないため未知で面白かった。
- ハンガリー人のアイデンティティーの1つが独自の言語であると知り、興味を持ったから
- ハンガリーは物価がヨーロッパの他の国より安く、周りの国への旅行もしやすいと思ったから。
- ・留学先の大学の授業を見た時に面白そうなものがあったから。ハンガリーで最も大きな大学らしく、学部の種類や学生の国籍も多くて良かった。

留学生生活全般

- 首都に住んだからか、不便なことはあまりなかった。ブダペストは公共交通機関がとても便利で安いことが特に良かった。しかし、手続き等に時間がかかったり、使い勝手が悪い商品があったりもした。でも逆に日本の商品が便利すぎるということや、日本は効率の良さを求めることが多いのかも、などということに気づけて、不便も楽しむことができたように思う。
- 私は日本でビザを取ってから出国しようとしていたが、寮の決定を待っていたら遅くなってしまい間に合わなかった。そのため現地で滞在許可証を取るようになった。日本でビザを取った方が楽だと思う。現地で滞在許可証を取るのには手間がかかったのに加えて、待つ時間が長かったので心配だった。ハンガリーは基本的に手続き等に時間がかかる。現地で滞在許可証を取る方法をネットで探すが難しかったが、Enter Hungary というサイトに必要なことを入力し、わからないことがあったらすぐに移民局に行ってしまうといいと思う。英語で対応してもらえる。だが移民局は混雑していて時間がかかるので、オープン時間の前に行き並ぶと確実にその日のうちに対応してもらえる。Enter Hungary は出国前に入力を済ましておくこともできる。大学を通じて滞在許可証のカードを受け取ることができるが、私が受け取ったのは11月の1週目だった。もっと遅かった人もいた。
- 私が取った授業は講義式のもの1つを除いて全部が少人数で、気軽に発言できる雰囲気だった。内容がわからないとそもそも発言ができないので、英語力も大事だけどその科目の知識をある程度持つことが大事だと思う。一番厄介だったのは、日本語で訳しても意味がわからない専門用語だった。知らない英単語は調べてわかればそれで済むが、調べてわからないと理解に時間がかかった。
- 自分が日本人だというと多くの人が、アニメ、ジブリ、車について話してきたが私はそれらに関する知識があまりなかったの、見ておけばよかったと感じた。アジア人差別は全く感じなかった。
- 海外に住むと、当たり前だと思っていたことが当たり前でなくなり、価値観が変わったと思う。また様々な国の友達ができたことで、ヨーロッパ以外の地域にも興味を持つことができた。
- この大学に留学して良かったことの1つに、国際的な環境であったことが挙げられる。首都のブダペストにあるため道を歩けば多国籍な人がいたり、アジアマーケットやターキッシュマーケットなどの国際的なお店、色々な国の飲食店があったりする。また、ハンガリーは奨学金が充実しているため大学や寮にはヨーロッパ、アジア、中東、アフリカからの留学生がたくさんいて、色々な国から来た友達と話すことがとても楽しかったし貴重な経験だったと感じる。